

経営比較分析表（令和元年度決算）

鳥取県 出雲市

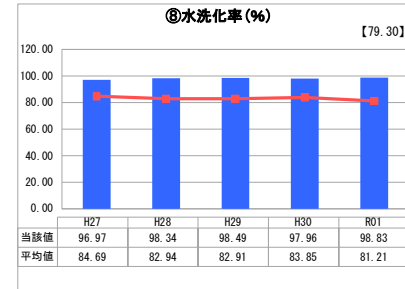
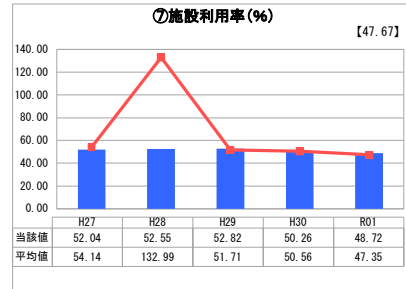
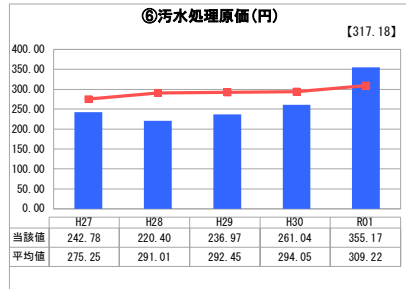
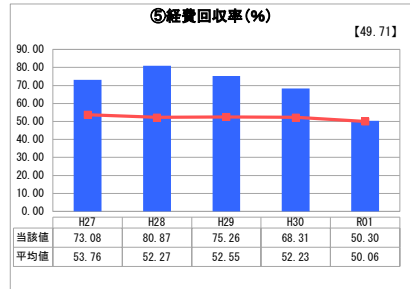
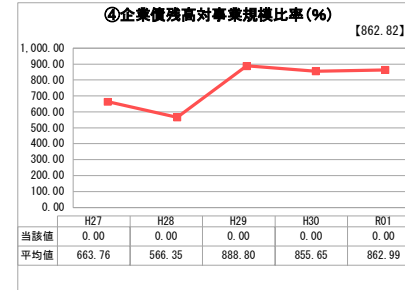
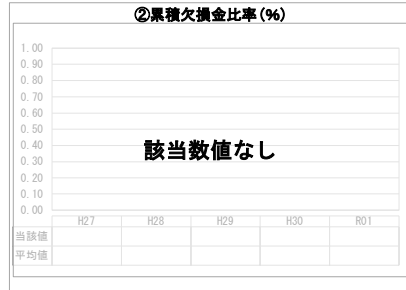
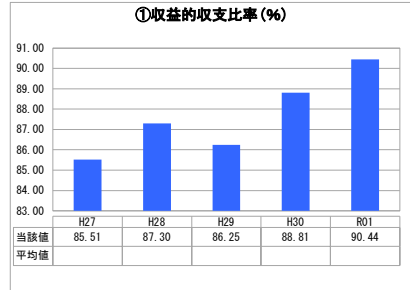
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	個別排水処理	L2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)
-	該当数値なし	0.24	100.00	3,352

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
174,995	624.36	280.28
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
426	0.08	5,325.00

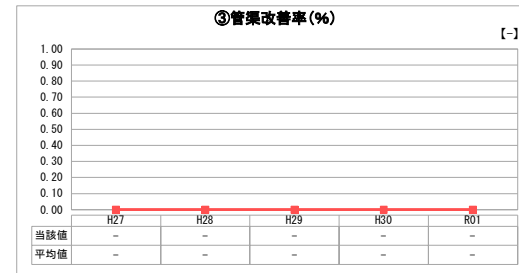
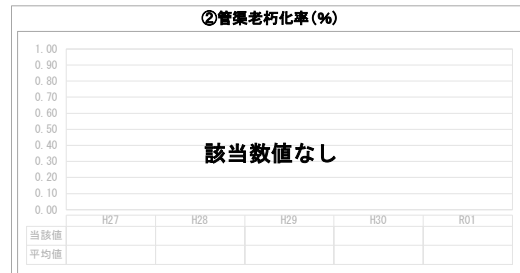
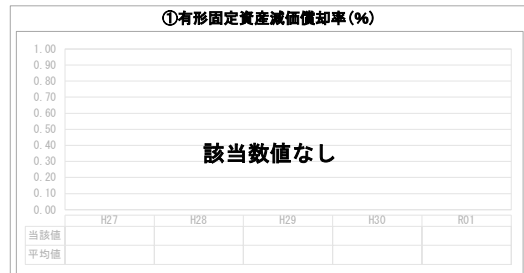
グラフ凡例

- 当該団体の値 (当該値)
- 類似団体平均値 (平均値)
- 令和元年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本事業は、特定地域排水処理事業とあわせ、浄化槽事業会計として実施している。

経営状況は、特定地域排水処理事業と同様、料金収入等の自主財源で維持管理経費を賄う事ができず、市償還額の不足分をあわせ、一般会計繰入金に頼らざるを得ない状況にある。

①収益的収支比率 修繕費が前年度より増額となったため総費用も増えたが、一般会計繰入金が増額により1.63ポイント増となった。

④企業債残高対事業規模比率 企業債残高の償還を使用料で賄えない不足分を、一般会計繰入金で全額埋め合わせているため、比率の計上はない。

⑤経費回収率 汚水処理費における維持管理経費の増額に対し、使用料収入は減収となったことから18.01ポイントの大幅な減となった。

⑥汚水処理原価 汚水処理費の増額に対し、有収水量が減少したことにより、94.13円の原価の増額となった。

⑦施設利用率 前年度より1.54ポイント下がったものの、類似団体を上回っている。

⑧水洗化率 前年度より0.87ポイント増加し、高い水準を維持している。

2. 老朽化の状況について

本事業は、平成11年度から実施した事業であり、法定耐用年数を経過する施設はなく、主にプロアポンプ等の機器類について、老朽化の状況に応じて修繕を行っている状況である。

今後も適正な維持管理に努めるとともに、老朽化の進行、更新期の到来に備えて、長寿命化、更新の方針等について検討を行う必要がある。

全体総括

本事業は、新規の浄化槽設置を終了していることから、今後は施設の適正な管理運営を行っていく必要がある。

令和元年度は、処理区域内人口の減少等から使用水量が減り、それに伴い使用料収入が減収となった。また、施設修繕経費が増えたことにより、支出も増額となった。

それにより、経費回収率は前年度を下回った。また、汚水処理原価は、前年度より高くなり、類似団体より高い状況にある。

今後、使用料収入の増収は見込めない状況であることから、施設の適正な管理に努める一方、引き続き経費の削減等に努め、経営の改善を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。